

令和8年度 農地集約プログラム（秋公募） 公募要項

東北学院大学黒阪研究室では、農地集約プログラム（以下「本プログラム」）を実施する市町村を追加公募（秋公募）いたします。本プログラムは、農家の耕作意向を Web アプリケーションで収集し、マッチングアルゴリズムを用いることで効率的な農地集約案を作成する取り組みです。本事業ではプログラムの効果をより客観的に検証するため、ランダム化比較実験（Randomized Controlled Trial：RCT）という実験手法を用いて、プログラム実施地区と非実施地区における農地利用の変化を比較分析いたします。

本事業を通じて、各市町村における農地活用の実態に合わせた新たな施策の可能性を探ることができると考えております。以下、公募に関する詳細を記載いたしましたので、奮ってご応募いただきますようお願い申し上げます。

1. 事業の目的

- ・Web アプリケーションとマッチングアルゴリズムを活用した「農地集約プログラム」の実施・検証。
- ・プログラム実施地区と非実施地区をランダムに選定し、客観的かつ厳密な比較分析を行うことで、政策的介入効果を定量的に評価する。

2. 農地集約プログラムの概要

(1) 農地データ登録

参加市町村から提供いただいた農地データを Web アプリに登録する。

(2) 事前説明会

農地集約プログラムの概要や Web アプリの使用方法を説明し、参加農家から実験参加への同意書を提出いただく。

(3) 耕作意向情報の収集

参加農家から Web アプリを通じて、耕作を希望する農地、希望しない農地の2種類からなる耕作意向情報を収集する。

(4) マッチングアルゴリズムを用いた集約案の作成

参加農家から収集した耕作意向情報を基に、マッチングアルゴリズムを用いた農地集約案を作成する。

(5) 結果説明会

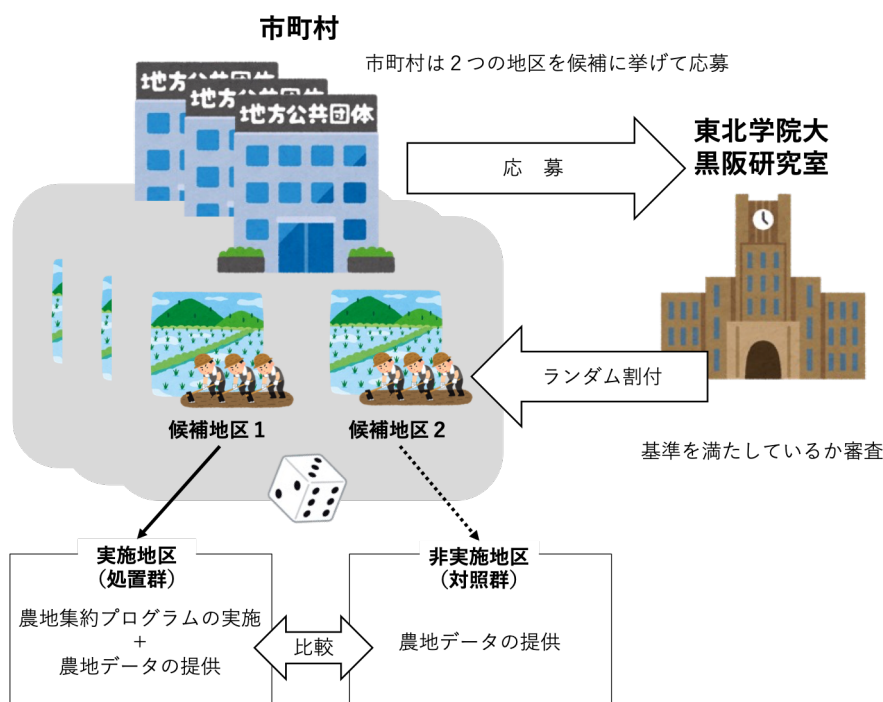
作成された集約案を参加農家に提示しフィードバックを得る。

※ 過去に実施した類似の実証事業については、以下サイトに概要を掲載しております。

<https://www.nouchimatching.com/case>

3. ランダム化比較実験（RCT）の実施方法

- ・参加市町村には、プログラムを実施する候補2地区を提示いただき、当該研究室においてそのうち1つを実施地区（処置群）、残り1地区を非実施地区（対照群）としてランダムに選定する。
- ・事業実施前後における、実施地区と非実施地区における農地利用の変化を比較することで、プログラムが農地集約に与える効果を検証する。



4. 応募資格

全国の市町村（農業委員会を含む）

5. 応募要件

下記の5.1から5.3までの要件すべてを満たす必要があります。なお、採択後に要件を満たさない事実が判明した場合は、採択を取り消す場合があります。

また、下記条件を満たしている場合でも、当該プログラムの実施が難しいと判断される場合は不採択になる場合もありますので、ご了承ください。

5.1 対象農地に関する要件

- ・対象農地は「うるち米」を耕作可能な田とする。
- ・候補となる2地区が隣接していないこと。また、参加が見込まれる農家の総農地面積が±20%以内の範囲で概ね均等であること。
- ・同一年度内において、候補2地区が地域計画の実行等に関して同様の取組（目標地図

のブラッシュアップ等）を行う予定があること。

- ・当該 Web アプリを用いた農地集約事業等をこれまでに実施していないこと。

5.2 参加農家に関する要件

- ・都府県の市町村が応募する場合は、対象となる農地を耕作する農家が、各地区において5戸以上参加できること。
- ・候補となる2地区において、同一農家が両方の地区で耕作していないこと。ただし、当該農家がいずれか片方の地区のみに参加する場合は応募できるものとする。
- ・事業期間中に、別の候補地区に当該プログラムの進め方が漏洩しないよう、参加者に守秘義務を課し、適切に管理できる体制を整えられること。

5.3 申請者に関する要件

- ・候補となる2地区それぞれの農地データ（筆ポリゴン、地番、耕作者情報を含む）を、事業実施年度および翌年度（農地交換実施後のデータ）の2年間にわたり提供できること。なお、農地データのファイル形式はShapefile または GeoJSON とし、最新の状態に更新されていること。
- ・参加農家向けの事前説明会および結果説明会を実施できること（参加農家が利用するPCやタブレット等、Wi-Fi 機器を準備すること）。
- ・採択後、東北学院大学および一般社団法人 Tannbo と共同研究契約を締結（2026～2027年度）できること。なお、共同研究契約の締結に先立って、本学に共同研究申込書を提出いただきます。
- ・米政策に関して概ね10年以上の実務経験を有する者が、参加農家調整及び交換案に基づく実際の交換に向けた取組に加わること（市町村での経験だけでなく、農業関係団体等における経験も含む）。
- ・当該プログラムにより作成した交換案に基づいて、次年度において実際の交換に向けた取組を行えること。

※ 一般社団法人 Tannbo は、経済学の社会実装を通じて地域課題の解決を目指す研究開発型の法人であり、これまでに自治体との共同研究や農地集約事業を実施した実績があります。

6. 費用負担

- ・本プログラムの実施（Web アプリの利用、集約案の作成等）に関する基本的な費用は無料です。ただし、書類の郵送料等、プログラムの実施に伴い発生する事務手続き上の軽微な実費等については、参加市町村にてご負担いただきますようお願いいたします。

7. 採択数

採択予定件数：若干数

(応募状況により、採択件数が変動する場合があります)

8. 申請期間・提出先

- ・申請期間：2026年9月1日（火）～2026年9月30日（水）17:00まで
- ・提出方法：農地集約プログラム Web サイトの電子申請システムより申請
電子申請システム：<https://www.nouchimatching.com/recruitment>

9. 申請方法

以下の書類を、電子申請システムにて提出すること。

- (1) 申請書
- (2) 添付資料（必要に応じて提出書類を追加）

10. 審査方法

申請書が応募要件を満たしているか審査します。なお、応募要件を満たす申請数が採択予定件数を超えた場合は、ランダムに選定します。

11. 知的財産権の取り扱い

当該プログラムを実施する過程で生じた知的財産権は、原則として東北学院大学に帰属するものとします。

12. スケジュール

- ・申請受付：2026年9月1日～9月30日
- ・Web相談会：随時
- ・審査期間：2026年10月上旬
- ・採択通知：2026年10月上旬（電子メールにて通知）
- ・共同研究契約締結：2026年11月下旬
- ・事業開始：2027年1月以降

13. 問い合わせ先

東北学院大学 黒阪健吾研究室

電話：070-3526-3844（平日 9:00～17:00）

メール：kkurosaka@g.tohoku-gakuin.ac.jp

本研究は JSPS 科研費 25K05110 の助成を受けたものです。